

I. はじめに：2023 年度 FD 活動の目標策定に向けて

大学における FD 活動について、中教審答申「2040 年に向けた高等教育のグランドデザイン」（2018 年 11 月）では、「教学マネジメントを支える基盤」とし、教育活動の要として位置づけている。「教学マネジメント」とは、「大学がその教育目的を達成するために行う管理運営」（中教審大学分科会「教学マネジメント指針」2020, p. 2）であり、自大学の教育に関わる諸活動について点検・評価を自ら行い、その結果をもとに改善に努め、質を保証する仕組みをいう。

上述の「教学マネジメント指針」では、「各大学は、「卒業認定・学位授与の方針」に沿った学習者本位の教育を提供するために必要な望ましい教職員像を定義した上で、対象者の役職や経験に応じた適切かつ最適な FD [中略] を組織的かつ体系的に実施していく必要がある。加えて、[中略] 学修成果・教育成果の把握・可視化により得られた情報の共有、課題の分析、改善方策の立案等、実際に教育を改善する活動として位置づけ、実施する必要がある」（p. 31）としている。

本学中期目標・計画（2019～2025 年度）に基づき策定されている 2023 年度学校法人幾徳学園事業計画では、教育開発センターが本学 FD に果たす役割として以下の三つを掲げている：（1）3 つのポリシーに基づく教育に関連した FD の企画・実施、（2）FD, アンケートを中心としたオンライン教育の検討、（3）教育力向上のための FD プログラム実施・受講状況改善。（1）においては本学の教学マネジメント体制の確立・運営に係るカリキュラムレベルでの支援を、（2）（3）においては授業者レベルでの支援について、設計・開発・実施していくことが求められている。

これらの高等教育界における指針と本学計画に鑑み、本学の教育方針である「学生本位主義」と教育目的「考え、行動する人材の育成—社会で活躍する人づくり」を確かなものとしていくために、2023 年度においても昨年度に引き続き以下の三つの目標を掲げ FD 活動の策定を行い、実施した。

II. 2023 年度 FD 活動の目標

- ①「教職員は、所属する組織における教育活動・活動支援の策定・評価・運用にかかる現状と課題を具体的に指摘でき、課題解決に向けた提言を行うことができる。」
- ②「教員は、自己の科目をカリキュラムの体系から位置づけることができ、そこで求められる教育活動を「到達目標」「評価方法」「授業内容・方法」の三点に基づき、戦略的に考察・構築・改善することができる」
- ③「教員は、適切なオンライン活用のありかたを設計・運営・評価の観点から考察し、自己の授業の改善に向かうことができる」

III. 2023 年度に実施した FD 活動

A. 研修会の実施

1. 新採用教員研修会の実施 [2022 年 5 月～2023 年 4 月採用教員必須受講・対面研修]

本学の概要・教育方針と現状などを学び、着任に当たり本学教員としての義務・責任などについても考察していただく機会を提供する。

4 月 7 日（金）10:00～15:50

a. 「神奈川工科大学の概要と方針」

小宮一三 学長

【目標①】

- b. 「教員への期待と要請」
谷村浩二 専務理事 【目標①】
- c. 「本学の学修支援と大学院の教育」
井上哲理 副学長 【目標①②】
- d. 「学生総合支援体制について」
齋藤 貴 副学長 【目標①】
- e. 「本学の学生支援体制について」
領家訓応 学生課 課長 【目標①】
- f. 「本学の高大連携と入学者選抜」
石田裕昭 理事 【目標①】
- g. 「本学の教学マネジメントについて」
山本一雄 教育開発センター 所長 【目標①②】
- h. 「研究コンプライアンス関連」
井藤晴久 研究推進機構 教授 【目標①】

2. 教育力向上ワークショップの開発・実施 [手挙げ式・新採用教員必須・Zoom 開催]

2017年度に新採用教員研修会を補完する研修として開始し、2018年度以降は「教育力向上ワークショップ」として定着しているFDインフラである。本ワークショップでは目標②に関わる個別教員の授業改善支援のため計画・実施されてきたが、目標①③も視野に入れつつ展開・実施した。

- 第1回 4月22日(土) 10:00~12:00
「授業設計のための目標と評価の設定」
伊藤勝久 教育開発センター 教授 【目標②】
- 第2回 5月20日(土) 13:00~15:00
「学生の主体的学びに向けた授業の設計」
伊藤勝久 教育開発センター 教授 【目標②】
- 第3回 6月24日(土) 13:00~15:00
「授業設計のための知識理解構造と課題分析」
伊藤勝久 教育開発センター 教授 【目標②】
- 第4回 7月22日(土) 13:00~15:00
「ルーブリック評価入門」
岡崎昭仁 自動車システム開発工学科 准教授 【目標②】
- 第5回 10月7日(土) 13:00~15:00
「反転授業設計入門」
伊藤勝久 教育開発センター 教授
神谷克政 基礎・教養教育センター 教授 【目標②③】
- 第6回 10月28日(土) 13:00~15:00
「授業のお悩み語り合いませんか?」
藤村 陽 基礎・教養教育センター 教授 【目標②】
- 第7回 11月25日(土) 13:00~15:00
「学生の興味を喚起する授業デザイン」
伊藤勝久 教育開発センター 教授 【目標②】
- 第8回 1月20日(土) 13:00~15:00
「カリキュラムマネジメント入門」

伊藤勝久 教育開発センター 教授

【目標①】

第9回 3月22日(金) 10:00~12:00(昼休憩) 13:00~14:00

「日々の教育活動を俯瞰して明日の教育改善を考える

ーティーチング・ポートフォリオ・チャート作成ワークショップー

岡崎昭仁 自動車システム開発工学科 准教授 【目標②】

3. FD講演会の実施 [全教員参加必須・Zoom開催]

2月21日(水) 13:00~14:30

「100分14週授業への変化を学生の学びにどう活かすか」

榊原暢久 芝浦工業大学 教育イノベーション推進センター 教授 【目標①②】

B. 授業公開 [対面・Zoom開催]

【目標①②③】

実施期間：12月5日(火)～12月25日(月) 【第11～13回授業】

全科目を公開授業の対象科目とするが、参観を希望する者は、事前に授業担当者の許可を得ることとした。ただし、各学科・センターによる「推薦授業」(以下に掲げる17科目)については自由参観(授業中の教室に出入り自由)とした。

【推薦授業】

- 専門科目：①飯田泰広教授「生化学実験(応用バイオ科学科)」
②入江慎治教授「公衆衛生看護技術論(看護学科)」
③三枝亮教授他「ロボメカ基礎ユニットⅡ(ロボット・メカトロニクス学科)」
④脇田敏裕教授「次世代自動運転(自動車システム開発工学科)」
⑤酒井徳昭准教授他「医用治療機器学実習(臨床工学科)」
⑥北本英里子准教授「CGデザイン(情報メディア学科)」
⑦鷹野孝典教授「データベース管理論(情報工学科)」
⑧澤井淳教授「食品工学(管理栄養学科)」

専門基礎科目：

- ⑨瑞慶覧章朝教授他「電気電子応用ユニット(電気電子情報工学科)」
⑩柴田大輔准教授他「生命科学基礎ユニットプログラム(応用バイオ科学科)」
⑪吉川紀夫講師「機械力学入門(機械工学科)」

専門基礎導入科目：

- ⑫三宅理江子准教授「生命科学概論(管理栄養学科)」
⑬藤村陽教授「基礎化学Ⅱ-a(基礎・教養教育センター)」
⑭藤村陽教授「実感する科学Ⅱ(基礎・教養教育センター)」
⑮土谷洋平教授「微分積分学Ⅰ-c(基礎・教養教育センター)」

共通基盤教育科目：

- ⑯高嶋渉准教授・戸松陽平(非)「健康・スポーツ科学実習Ⅱ(基礎・教養教育センター)」

大学院科目：

- ⑰佐々義子講師(非)「サイエンスコミュニケーション(修士課程全専攻;Zoom開催;大学院生によるサイエンスカフェ)」

C. 「学生による授業アンケート」「教員による振り返りアンケート」の実施 【目標①②③】

個々の授業者の教育改善支援のみならず、先述の教学マネジメントのプロセスに学生の声を反映するための必須チャンネルである。本学個別事業計画 3(2)にも実施の継続が規定される。

「4.2 教育の質保証・向上、学生本位（2）教育内容・教育力の向上、教育支援の充実①FDの全学的実施」の取組内容 b-1.教育評価項目の再編成に掲載している「学生による授業アンケート／教員による授業アンケート（質問を表裏一体的に構成）を実施し、学生・教員間の認識の違いを把握することによって、各教員が自己の授業における教育活動を分析できるようにした。

実施期間：【前期】7月18日（火）～7月31日（月） 第14～15回授業

【後期】1月6日（土）～1月22日（月） 第14～15回授業

「学生による授業アンケート集計結果」については、本センターweb 頁上に概要を公開。また、前期「学生による授業アンケート」の結果については、担当教員からのコメント集『より良い教育をめざして：教員による学生の皆様へのコメント』（12月発行,166p.）を発行し、同じく web 上に公開している。

D. 動画・資料コンテンツの作成・公開

1. 2月3日（金）公開 [全教員視聴必須] 【目標①②】

①動画1「**学事暦の柔軟化にかかる審議会・法整備の動向**」(23:08)

②動画2「**100分授業を考える**」(24:52)

2024年度から導入される「100分14週間授業」について、高等教育界・文部科学行政における議論と制度上の背景を整理するとともに、今後の本学における教学上の戦略的な価値、授業実践上の利点と留意点についてまとめた動画を2本作成した。これらの動画は本学のLMSであるmanaba上の「KAIT FD」コースに資料とともに公開している。

なお、本動画の視聴は「教員教育評価」の要件とし、2月9日（金）～3月10日（日）での視聴を必須とした。

2. 新年度当初用の学生向け動画の作成 【目標①②】

①**学生向け動画「100分授業への変化を成長に活かそう」(8:00)の作成**

100分授業（従来より授業時間が10分長い）への転換を機に、大学での学修の意義と心構え、授業での行動指針などを具体化し整理した。2024年度当初（4月3日水）に全教員に配布し、利用に供した。

E. SCOT 研修会（学生 FD） 【目標②③】

本学では学生FDの一環として、授業設計・運営の方法等について有志学生を募り、授業担当者の希望に応じる形で授業を参観し、学生目線から授業改善のための提言を得る活動（SCOT活動）を実践している。2023年度には、座学研修を計4回実施した後、実務研修（事前打合せ・授業参観・事後報告）を行っている。2023年度末における、本学のSCOT生は、9名（4年生1名、3年生2名、2年生4名、1年生2名）である。

F. センターニュースの発行 【目標①②③】

7月31日（月）発行 特集「高大接続」3つのポリシーの作成」

3月28日（木）発行 特集「教学マネジメントの仕組みづくり」100分14週授業の導入」

「3つのポリシー 教職員版・学生版 冊子発行」

G. プレFDプログラムの開講 【目標①②③】

「大学院設置基準（第42条の2）」の改正（2019年8月30日公布・施行）により、全ての大学院において「学識を教授するために必要な能力を培うためのプログラム（いわゆる「プレFDプログラム）」の設定と充実を図ることが努力義務化された。本学では、2010年に国立教育

政策研究所により提唱された「新任教員研修のための基準枠組」と、2019年7月に日本高等教育開発協会(JAED)により提案された「大学教員の基本的な教育職能の基準枠組」を参考とし、既存のFD研修会(新採用教員研修会・教育力向上ワークショップ)を基盤とした実践的な「ブレFDプログラム」(4領域20時間修了)を構築(2019年11月12日教開セ發文書)した。

本案を基本に博士後期課程共通選択科目(1単位)の「高等教育学識教授法」を設計・開発し、一昨年度開講した。本講では全8回に編成し直し、そのうち5回(とくに知識について)をオンデマンド授業として知識の学修を行い、3回(模擬授業を含む実技と議論中心)を集中対面講義として模擬授業を含む実技と議論を中心に学修を行う構成とした。

【29700 高等教育学識教授法】 第1回 10月28日(土)～第8回 1月31日(水)

以上